

笑ってください

入社した頃は68kgの体重も今では3桁越えの105kg。入社15年の間に蓄えに蓄えたお肉は37kg。とうとう今月から体重を減らす薬を飲むようになってしまいました。こうなってくると見た目も変わったのか(本人は変わった気がしないのですが)よく誰?となることが多いのです。



以前担当させて頂いた当様様宅での事。「以前お世話になりました上野です。今回もよろしく願います」と挨拶をし、通夜の飾りつけをしていたところ、お家の人達が「あれ?もしかして同性の別の人なんかな?違う人でしょ」とざわざわ。もしかして別人と間違われているのではと疑問に思いつつも、飾りの合間に喪主様と以前も盛り上がったソフトボールの話をしていると、「あっ!?ソフトボールに詳しいからやっぱり上野さんよ」との声が。え!?顔じゃなくてソフトボールの話で分かったの?と心の中でツッコミをいれつつ、喪主様の「仏様みたいにふくよかでよいお顔になったね」のフォロー(?)の言葉に喜ぶべきなのか悲しむべきなのか…。

ある時は、松山葬祭館に私よりもひと回り体が大きく柔道をしている猛者がいるのですが、松山の病院から新居浜のご自宅に帰られる依頼をうけ、そのスタッフにお迎えから自宅へのご安置をお願いしました。葬儀も終わり、喪主様に「大変ですね、松山に遅くに迎えに来て、翌日そのまま通夜だったでしょ。寝てないんじゃないですか」…しばしの沈黙。言われている意味がわかり「松山に伺ったのは私ではなく、松山のスタッフですよ」とご説明すると「双子なの?」と言われ、この時は流石にショックを隠せませんでした。

同僚にこの話をしたところ、「いやいや松山のスタッフのほうが体は大きいけど体が締まっているよ」と言われ二重にショックを受けました。これはやはり痩せなければと思ったエピソードでした。



上野真義

葬儀の現場から ～良いお別れのために～



それは去る5月の連休中の出来事です。

新居浜葬祭館に葬儀の事前相談に男性が来館されました。男性は仕事のため遠方の他県に生まれ、連休中に新居浜に帰省されておりました。新居浜にいらっしゃるお父様がお病気で、葬儀について話を聞いておきたいとの事でした。

まず、もしもの時のご葬儀の流れや準備して頂くものをご説明しました。また、お父様の名義でドリーマーの会員になられており、会員内容をご説明しながら葬儀の内容を決めていき、生前見積もりを作成しました。その方は葬儀を出すのが初めてであり、また自分が県外在住でもしもの時すぐには駆けつけられないかもしれないという思いもあり、分からないことや色々なご質問にもお答えしました。お帰りになる際には「分からなかったことを聞け、見積もりもしてもらえて良かった。今日相談に来て良かったです」とのお言葉を頂きました。「いつどうなるか分からないが、もしもの時はよろしくお願いします」とおっしゃられ帰って行かれました。

そして翌6月のある日、男性から私宛に電話が掛かってきました。お父様が亡くなられ、病院へのお迎え依頼のお電話でした。病院へのお迎えの準備をしている中、私はふとあることに気が付きました。ちょうどその日は5月に7回忌を済ませた、私自身の父の命日と全く同じ日だったのです。その事に何か不思議なご縁を感じながら病院へお迎えに行き、ご自宅へお連れしました。通夜・葬儀は会館で行いましたが、事前相談・生前見積もりをしていたこともあり、スムーズに通夜・葬儀を迎えられ、ご家族の皆様もゆっくりとお別れをすることができました。

ご縁あって、連休中に事前相談に来られた時から、葬儀が終わるまでお世話をさせて頂いた事に感謝しております。そして今回の出来事を通して、まだご本人が生きている間だからこそ、かえって冷静に葬儀また最期のお別れについても考えることができるのが、事前相談の良い所だと改めて思いました。

最期だからこそ後悔のないご葬儀・お別れをして頂けるように努めて参りますので、お気軽に事前相談へとお越しください。また、ご自宅への出張相談も承りますのでご安心下さいね。



首藤亮太

四国へんろ道

第23番札所【医王山 無量寿院 葉王寺】(いおうざん むりょうじゅいん やくおうじ)

【～ご詠歌～ 皆人の病みぬる年の葉王寺 瑠璃の葉をあたまませ】



阿波最後の霊場、厄除けの寺院としても有名で別格本山でもあるここ葉王寺は、縁起によると聖武天皇の勅願によって行基菩薩が建立されたのち、弘法大師が42歳の時、自身と衆生の厄除けを願って、本尊厄除薬師如来を刻まれ、厄除けの根本祈願寺としました。

火災で本堂等が消失した際、本尊は自ら玉厨子山に飛び去って難を逃れました。その後再建し、新しい薬師如来の開眼供養をすと、再び飛びかえって後ろ向きに厨子に入られたと伝えられています。現在では後ろ向き薬師として秘仏にされており残念ながら見ることはできません。

壮大な太平洋からの海風を受けながら仁王門をくぐりぬけ本堂へ向かうと、まず見えてくるのが「女厄坂」といわれる33段の石段です。ここ葉王寺には「女厄坂」「男厄坂」「還暦厄坂」と石段があり、各石段には薬師本願経の教文が一字ずつ書かれた小石が埋め込まれています。厄年の方が薬師如来の真言を唱えながら一段ごとにお賽銭を置き厄を払うそうで、石段の端にはたくさんのお賽銭が置かれています。女厄坂を登ると中央に石臼が置かれているのですが、薬師如来の真言を唱えながら、歳の数だけ杵で抹茶が入った臼をつけば厄が落ちる、健康で長生きできると言われています。

続く急こう配の男厄坂を登りきると、目の前に本堂が見えてきます。境内左手に、随求の鐘があるのですが、鐘を備え付けの木で年の数だけ大随求菩薩の真言を叩くと厄が落ちると言われています。見落としがちなのが、本堂正面から左手の奥に肺大師と呼ばれる霊水が湧いています。この霊水はラジウムを含んでいて飲むと肺の病気に効くと言われています。

本堂右手の奥、還暦厄坂を登った先には高さ29mの「瑜祇塔(ゆぎとう)」が建っています。地下には有料ではありますが戒壇めぐりができます。漆黒の闇の中、壁をさわりながら一歩ずつ進んで行くと、突然明るくなり月光菩薩が出迎えてくれます。

葉王寺をお参りした後は、駐車場の横にある葉王寺温泉で汗を流すというのはいかがですか?弘法大師が病に苦しむ人々に山腹より湧き出た霊水を見つけ温浴を教えたという由来があるそうです。科学的にも硫化水素を含む良質の温泉でよいお湯なので是非立ち寄らせてみて下さい。



柿内祐子

今回は高知県へと足を進めてまいります。第24番札所【室戸山 明星院 最御崎寺】(むろとざん みょうじょういん ほつみさきじ)をご案内いたします。

ドリーマー社員大募集!! まずはお電話を!!

ドリーマーではお客様にご満足していただけるサービスを提供するためスタッフを募集しております。

【正社員】 基本給 187,000円～293,000円

(休日/月6日、有給あり、賞与年2回、社保完備)



【献茶スタッフ】 時給 800円～1,100円 (出勤可能な希望日 要相談)

セレモニーにおける会館でのお飲み物のお配りや、式場のご案内など接客が主な仕事です。



【営業パート】 時給 800円～1,500円 (週4日)

冠婚葬祭においてドリーマー会員の必要性を伝えながら、会員募集営業をするお仕事です。



募集に関するお問い合わせは

0897-35-1110

担当 戸田

お仕事をお考えの方!! 私たちと一緒に働きましょう!! 未経験からはじめたスタッフがほとんどです。知識経験がなくてもマンツーマン指導で、しっかりと仕事を覚えることが出来る環境です。ご連絡をお待ちしております。



まもる みらい あい

